

## 会 議 録

会議名称	第1回柳川市民文化会館（仮称）基本計画検討委員会
日 時	平成26年11月28日（金） 10:00～12:00
会 場	柳川市民会館 第1会議室
出席者	<p>[委 員] 立花委員、武末委員、森田委員、姉川委員、草場委員、          椛島（道）委員、安永委員、古賀（俊）委員、          古賀（理）委員、壇委員、大橋委員、野田委員、勝見委員          今村委員、黒田委員、古賀（弥）委員、大森委員、          齋藤委員</p> <p>[事務局] 大坪総務部長、椛島企画課長、野田企画係長、          企画課企画係 江口          松尾生涯学習課長、生涯学習課文化係 須崎、          (株)シアターワークショップ 伊東、今川</p>
欠席者	[委 員] 生田委員、甲斐田委員、椛島（和）委員
議題等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 市長あいさつ</li> <li>3 委嘱状交付</li> <li>4 委員・事務局紹介</li> <li>5 会長・副会長の選任</li> <li>6 諮問</li> <li>7 議題             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 柳川市民文化会館（仮称）基本計画検討委員会について</li> <li>(2) 柳川市民文化会館（仮称）基本構想について</li> <li>(3) スケジュールについて</li> <li>(4) 市民ワークショップの開催について</li> </ol> </li> <li>8 その他</li> <li>9 閉会</li> </ol>
会議資料	<p>資料① 柳川市民文化会館（仮称）基本計画検討委員名簿</p> <p>資料② 柳川市民文化会館（仮称）基本計画検討委員会設置要綱</p> <p>資料③ 柳川市民文化会館（仮称）基本計画検討委員会について</p> <p>資料④ 柳川市民文化会館（仮称）基本計画検討委員会スケジュール（予定）</p> <p>資料⑤ 柳川市民文化会館（仮称）市民ワークショップ参加者募集チラシ・申込書</p>
次回会議	平成27年12月27日（土）10時から 柳川市民会館 第2会議室

＜審議結果は次のとおり＞

## 1 開会

## 2 市長あいさつ

師走のお忙しい時期に、委員の皆さまには委員をご快諾ありがとうございます。現在の柳川市民会館は、昭和46年に開館し、柳川市民の文化芸術活動の場、コンサートや他市民のふれあいの場として利用されてきました。私も結婚披露宴の会場として利用しました。

施設・設備の老朽化、駐車場の不足など、使い勝手の悪さなどにより、施設利用が低迷している状況です。また、耐震診断の結果、現行の耐震基準に適合しないことが判明しました。

昨年8月から、新市民文化会館（仮称）について、各分野で活躍されている有識者の方々に条件をいただきながら議論を進め、基本構想の策定を行いました。

本委員会では、基本構想の市の基本方針を踏まえ、新たな施設への利用方針や、施設機能・規模について、検討いただきたいと考えています。

この度、掘割を活かした景観が「水郷柳河」として国の名勝指定を受けることとなりました。市民グラウンドの北側の外堀も名勝指定を受けることとなります。水郷柳川の景観を活かした整備は柳川でしかできないことです。

市民に長く愛され、文化の足掛かりとなる市民文化会館に関する基本計画が提案されることを期待しています。

## 3 委嘱状交付

（教育長から各委員へ委嘱状を交付）

## 4 委員・事務局紹介

## 5 会長・副会長の選任

（会長に齋藤委員、副会長に生田委員が選任される。）

### ○齋藤会長

市民のための全国に誇れる施設となるよう、力の限り頑張るので、皆様ご協力よろしく願いいたします。

## 6 諮問

（金子市長から齋藤会長へ諮問される。）

## 7 議題

### (1) 柳川市民文化会館（仮称）基本計画検討委員会について

- ・ 市民と市長の間に入り、市民の意見を取り入れて、橋渡しをしたい。

### (2) 柳川市民文化会館（仮称）基本構想について

- ・ 基本構想は非常にわかりやすくまとまっていると感じる。
- ・ 既存市民会館は、設備では現在の法規に合致する設備はほとんどない。使用勝手としてはあるものを使っている状況。新しい演出方法で使いたいものには対応できない。
- ・ 舞台は、司会者は下手で進行を行うのが普通であるが、現在の市民会館の舞台では、操作が上手にあり、進行しづらい。
- ・ 袖が狭く、道具を置くスペースがない。出演者が待機する場所もない。
- ・ 既存の市民会館の設計時に、舞台の専門家が入っていたかどうかは施設が古く、資料が残っていないため不明。
- ・ 今の市民会館の状況は稼働率 24～25%。何十億もかけて新しい施設をつくることは可能だが、どのように活用するかが重要な問題。
- ・ 30 年間、市民会館を利用してきた。個人主催で大ホールでピアノの演奏会を 4 回やった。いいものをやればお客さんは来る。市民会館第 1 会議室は 200 人程度でピアノがない。基本構想で色々なよいことが書かれているので、市民の立場で考えて、ぜひクラシックで使いやすいホールを実現していただきたい。
- ・ 稼働率を上げていくことを委員会でも考えていきたい。上演のない時にクローズしているのではダメ。賑わい、交流の生まれる敷居の低いものをつくるべき。
- ・ 日常的に市民が集まってきて、語り合い、ものづくりをしたりできる空間になるとよい。
- ・ 柳川らしさを出していくことが具体的にできるとよい。劇場建築のハード、ソフト的にも柳川らしさが出るとよい。柳川には白秋があるが、それ以外にプラス何かがあるかを考えていけるとよい。
- ・ 基本構想はバランスが良く、施設の役割、柳川らしさが入っている。
- ・ 第 4 章の運営で、開館後の運営は管理運営計画として計画するが、この基本計画の中でも管理運営の方針的な部分については触れる予定。
- ・ ハードとソフト並行で考える必要がある。事業内容はもちろん、ホールをきちんと管理運営していくための検討が重要。
- ・ 敷地規模は 18,000 m<sup>2</sup>となっているが、市民グラウンド周辺を整備し、現状で 15,000 m<sup>2</sup>程度は確保できる。観光物産公園や他の公共施設とのとの

連携で、足りない部分は埋めていくことを考えたい。

- ・建物は4,000～5,000 m<sup>2</sup>としているが、これは基本構想の考え方。基本計画の中で、大きくも小さくも検討はできるが、予算の上限もあり際限なく大きくすることはできない。どの程度の規模とするのかは、協議の中で決めていきたい。

### (3) スケジュールについて

- ・委員会は基本的に1か月に1回開催予定。市民ワークショップを行った後に委員会を開催の流れを想定。時間は日中を想定。
- ・2回目以降、基本計画の中身を練っていく資料を提案。市民ワークショップの開催し、事務局より資料を提示し、委員会で協議していくことを想定。
- ・文化振興条例をつくらなければならない。市民の意見を聞いて柳川はどのような文化振興をするのかという基本条例をつくり、これに基づいて5年間のマスタープランをつくらないと、文化庁の補助金が受けられない。今後は単独財政事情では厳しい。建てても維持費、メンテ・修繕費がずっとかかってくる。建てても何に使うのか目的が薄いホールになる。
- ・市民ニーズをアンケート等で抽出することを進めてもらいたい。

### (4) 市民ワークショップの開催について

- ・市民ワークショップの日程は12月21日。
- ・ワークショップは結果報告も含めて、次回委員会を平成26年12月27日（土）としたい。

## 8 その他

## 9 閉会